

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行 / 鳴門市議会

☎772-8501

徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

☎088-684-1234 ☎088-684-0814

✉gikai@city.naruto.lg.jp

編集 / 議会広報委員会

発行 / 2014年(平成26年)6月1日

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

老朽化対策として建て替え工事が進められていた鳴門中学校の体育館等がこのたび完成し、4月25日に総合落成式が開催されました。

新体育館は、非常用電源や備蓄倉庫なども備えており、震災に強い施設となっています。

目次

第1回臨時会の提出議案と議決結果	
第1回定例会の主な審査状況	②
第1回定例会の提出議案と議決結果	
請願の処理、意見書	③
委員会審査から	④
一般質問	⑤～⑫
市の予算の使いみちについて議論しました	⑬～⑭
市議会点描、次の定例会の開催予定	⑮
議会活動、市民の広場、編集を終えて	⑯



(上) 完成した新体育館 / (下) 総合落成式の様子

新年度のスタートは新しい体育館で ～鳴門中学校の総合落成式開催～



NO. 87

《 第1回臨時会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第1号	平成25年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）	原案可決	産業建設委員会

ボートレース鳴門が生まれかわります！

さる2月3日に開催された平成26年第1回臨時会では、国の護岸工事と老朽化に伴う施設改善のため行われる鳴門競艇場の改築工事に必要な補正予算を計上する案が提出され、可決しました。

新スタンドは、①日本一コンパクト ②移動が少なくてすむようなワンフロア型 ③広く市民に親しまれる地域開放型 ④低コスト・省エネ ⑤自然災害時にも対応できるといったコンセプトで計画されています。本場レース再開は、新施設が完成する平成28年4月の予定です。



第1回定例会の主な審査状況

2月20日(木) 第1回定例会開会／予算決算委員会

- ・市長より市政についての所信が表明され、平成26年度一般会計予算案など議案29件が提出されました。
- ・議案13件を予算決算委員会に付託しました。
- ・本会議散会后、予算決算委員会を開催し、平成26年度当初予算にかかる議案13件の全体説明を受けました。

2月26日(水) 一般質問

- ・5会派による代表質問を行いました。

2月27日(木) 一般質問

- ・議員6名による個人質問を行いました。

2月28日(金) 一般質問／予算決算委員会

- ・議員3名による個人質問を行いました。
- ・市長より平成25年度一般会計補正予算案など議案12件が提出されました。
- ・議案28件および請願2件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- ・本会議散会后、予算決算委員会を開催し、平成25年度補正予算にかかる議案12件の全体説明を受けました。

3月5日(水)、6日(木) 予算決算委員会

- ・付託された予算案25件について各部課ごとに審査する普通質疑、およびテーマを決めて審査する特別質疑を行いました。

3月7日(金) 総務文教委員会

- ・付託された議案9件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- ・報告5件について担当課より説明を受けました。

3月10日(月) 生活福祉委員会

- ・付託された議案3件および請願1件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願は採択すべきと決しました。
- ・報告2件について担当課より説明を受けました。

3月11日(火) 産業建設委員会

- ・付託された議案4件および請願1件について審査の結果、議案はいずれも可決、請願は採択すべきと決しました。

3月12日(水) 予算決算委員会 第1分科会

- ・企画総務部、消防本部、教育委員会の予算案について審査を行いました。

3月13日(木) 予算決算委員会 第2分科会

- ・市民環境部、健康福祉部の予算案について審査を行いました。

3月14日(金) 予算決算委員会 第3分科会

- ・経済建設部、企業局の予算案について審査を行いました。

3月20日(木) 予算決算委員会

- ・各分科会から報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

3月25日(火) 第1回定例会閉会

- ・第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案41件はいずれも可決、請願2件はいずれも採択と決しました。
- ・議員より意見書1件が提案され、採決の結果、可決しました。
- ・市長より人事案件1件が提出され、同意しました。

《 第 1 回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第 2 号	平成26年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算 委員会
議案第 3 号	平成26年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第 4 号	平成26年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第 5 号	平成26年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第 6 号	平成26年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算		
議案第 7 号	平成26年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算		
議案第 8 号	平成26年度鳴門市産業団地開発事業特別会計予算		
議案第 9 号	平成26年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		
議案第10号	平成26年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第11号	平成26年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第12号	平成26年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第13号	平成26年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第14号	平成26年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算		
議案第31号	平成25年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）		
議案第32号	平成25年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第33号	平成25年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
議案第34号	平成25年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		
議案第35号	平成25年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		
議案第36号	平成25年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第37号	平成25年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第38号	平成25年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算（第2号）		
議案第39号	平成25年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第40号	平成25年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第2号）		
議案第41号	平成25年度鳴門市水道事業会計補正予算（第2号）		
議案第42号	平成25年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第3号）		
議案第15号	鳴門市職員諸給与条例等の一部改正について	原案可決	総務文教 委員会
議案第16号	鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について		
議案第17号	鳴門市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について		
議案第18号	鳴門市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について		
議案第19号	鳴門市消防手数料徴収条例の一部改正について		
議案第20号	鳴門市火災予防条例の一部改正について		
議案第21号	鳴門市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について		
議案第22号	鳴門市立中学校設置条例の一部改正について		
議案第23号	鳴門市社会教育委員条例の制定について	原案可決	生活福祉 委員会
議案第24号	鳴門市「なると第九」ブランド化推進基金条例の制定について		
議案第25号	鳴門市母子寮条例の廃止について		
議案第26号	鳴門市児童館条例の一部改正について	原案可決	産業建設 委員会
議案第27号	鳴門市治山事業分担金徴収条例の制定について		
議案第28号	松茂町ほか二町競艇事業組合と鳴門市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の委託に係る協議について		
議案第29号	鳴門市と丸亀市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の委託に係る協議について		
議案第30号	鳴門市と宮島競艇施行組合との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の委託に係る協議について	原案可決	
意 第 1 号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書		
同意第 1 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	

請願の処理

請願番号	案 件	審査結果	所管の委員会
請願第 2 号	鳴門競艇場改築事業に関する請願書	採 択	産業建設 委員会
請願第 3 号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費の助成の拡充に関する請願書	採 択	生活福祉 委員会

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

わが国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由によるものであるということは、肝炎対策基本法や「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」、「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」でも確認されているところであり、国の法的責任は明確になっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業が行われているが、対象となる医療が、B型・C型肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、医療費助成の対象から外

れている患者が相当数にのぼる。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。さらに、障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準は患者の実態に沿ったものとなっておらず、生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法においては、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされた。しかし、国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について何ら具体的な措置を講じていない。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡

くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、本議会は、下記事項を実現するよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2 身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に応じた障害者認定制度にすること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月25日 鳴門市議会

※この意見書は可決されたため、各関係機関へ送付しました。

委員会審査から

総務文教委員会

- **議案第16号 鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について**
〔説明〕 現在、市長、副市長および企業局長を対象に実施している給料、期末手当の臨時的削減措置について、特別職報酬等審議会での答申を踏まえ、見直すため、所要の改正を行うもの。
〔質疑〕 改正される削減率について、特別職報酬等審議会で具体的な削減率の意見はなかったのか。
〔回答〕 削減率をゼロにすべきとの意見もあったが、政策的な削減率について審議会は関与しない、他都市や近隣の状況を見て正しいと考える金額を答申することである。
〔要望〕 依然、財政状況が厳しい中、給与等の削減率の縮小については、金額面の影響よりも危機感のゆるみにつながらないか懸念される。市民へ負担を求めなければならないケースも増えていく中、このことについては慎重に考えて実施してほしい。
- **議案第22号 鳴門市立中学校設置条例の一部改正について**
〔説明〕 瀬戸中学校と北灘中学校の再編協議が整ったことから、平成25年度末をもって両校を廃止し、平成26年度より新たに瀬戸中学校を設置する予定であるため、所要の改正を行うもの。
〔要望〕 本市の学校再編についてはこれまでも様々な議論がされ、その時期に応じた取り組みがなされてきた。賛否両論あると思うが、最終的には納得できる結果とするため、出た意見については精査・協議するとともに、子どもたちに迷惑をかけないように、意見のある方にはきちんと説明してほしい。

生活福祉委員会

- **議案第24号 鳴門市「なると第九」ブランド化推進基金条例の制定について**
〔説明〕 アジア初演の歴史や由来を持つ「なると第九」を活用し、地域の活性化と文化振興を図るため、新たに基金を設置するもの。
〔質疑〕 基金の処分についての規定の趣旨は。
〔回答〕 目的のために積み立てた基金を取り崩して活用することが予定されている取り崩し型基金であるということを明確に表すための規定。
〔要望〕 「第九」は鳴門市のみならず国においても国際的な文化資産であり、事業を進めるにあたり、国、県からの補助金を活用すべきでは。
- **請願第3号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費の助成の拡充に関する請願書**
〔意見〕 国は責任を認める一方、患者への救済措置はまだ不十分である。
〔意見〕 請願内容に賛同し、国を動かせるよう応援したい。

産業建設委員会

- **議案第27号 鳴門市治山事業分担金徴収条例の制定について**
〔説明〕 これまで治山事業を行う際には県の補助金と市の負担金のみで受益者負担はなかったが、平成18年4月1日より施行された鳴門市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例では、急傾斜地崩壊対策事業を行う場合に、受益者から分担金を徴収できるようになっていることから、均衡を保つため、治山事業においても分担金を徴収できるよう条例を制定するもの。
〔質疑〕 条文中の受益者の定義と分担金の負担割合について。また分担金の納付については条例で規定はないが、分納等の措置は可能か。
〔回答〕 受益者とは、危険箇所があるなどの理由で事業を希望する方をはじめ、事業によって利益を受けると認められる方。分担金の負担割合については、受益者間で話し合っ決めていただくものと考えますが、同じ区域においても治山事業により利益を受ける割合は異なる場合もあるため、市の担当者が話し合いに参加し、地域の方と協議をする中で決定していく流れになると思う。分担金の支払いが困難な方については当事者との話し合いなどによるが慎重に判断し、条文中の減免措置に関しても適用をどの範囲に定めるかを今後明確な規定のもとで運用できるようにしたい。
- **請願第2号 鳴門競艇場改築事業に関する請願書**
〔質疑〕 附帯工事の今後の発注の中で、地元企業が参入できる余地はあるのか。
〔回答〕 今後、派生的に発生する事業については余地はあるかと思われる。



この条例が議決されたことにより、治山事業について、受益面積等に応じて、負担金が発生するようになります。

予算決算委員会

- **議案第2号 平成26年度鳴門市一般会計予算ほか24議案**
〔質疑〕 築後40～50年を経ている集会所も多いが使用頻度が少ないところもあると思われるため調査する必要があるのではないか。
〔回答〕 全体的な公共施設の管理計画は必要であり、義務づけられるようになってくると考えられる。
〔説明〕 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月に厚生労働省から積極的な接種勧奨を取りやめる通達があり、本市でも対象者に予防接種の通知送付を控えている状況。接種率も平成24年は61.3%だったが平成26年1月末現在では9.1%まで減ってきている。
〔質疑〕 瀬戸内四都市広域観光推進事業について、どのような実績があるのか。
〔回答〕 神戸・倉敷・琴平・鳴門の四都市が大きな橋につながったことをきっかけに、まず、観光で交流できるような施策をしようということで発足。昨年度、一昨年度については、九州新幹線の開通に合わせて、九州での大規模キャンペーンを行っており、本年度については、初めて海外でのキャンペーンとして、台湾の台北で毎年35万人が集まる国内最大の観光展に初めてブースを出した。



中間層の保育料の軽減や住宅環境の向上、地域経済の活性化を図るため、リフォームの助成制度が創設されます。

一般質問の項目一覧

代表質問

●宅川 靖次(会派 郷土)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 行財政改革について
 - (2) 防災・減災対策について
2. 競艇事業について
 - (1) 競艇場の施設改善について

●野田 粹之(会派 創心クラブ)

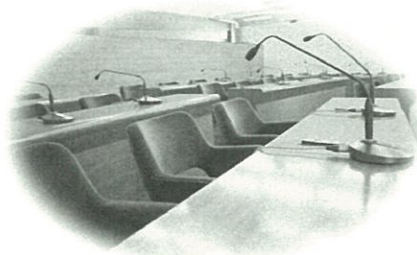
1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 平成26年度当初予算について
2. 競艇事業について
 - (1) 競艇の将来ビジョンについて
 - (2) 収支の分析について

●橋本 国勝(会派 有志会)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 平成26年度当初予算について
 - (2) 行財政運営について
2. 鳴門市の活性化について
 - (1) 地域経済の振興・活性化について
 - (2) まちづくりの活性化について

●平塚 保二(会派 市民クラブ)

1. 環境政策について
 - (1) 水環境の改善について
 - (2) ごみの減量施策について
2. 健康福祉行政について
 - (1) 地域医療を守る条例制定の意義について
 - (2) 自殺予防対策事業について



●松浦 富子(会派 公明党鳴門市議団)

1. 防災・減災対策について
 - (1) 「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」成立による「国土強靱化地域計画」の策定・実施について
2. 消費税増税に伴う臨時的給付措置について
 - (1) 簡素な給付措置について
3. ピロリ菌について
 - (1) ピロリ菌除菌治療について

個人質問

●東谷 伸治

1. 公共施設管理計画について
 - (1) 市庁舎・集会所等の中・長期計画について
2. LED化事業について
 - (1) 公有施設の省エネについて
 - (2) 照明・防犯灯について
3. 競艇事業について
 - (1) 新スタンドについて

●浜 盛幸

1. 芸術文化振興について
 - (1) 鳴門市の取り組みについて
 - (2) 「第九」アジア初演100周年記念行事について
 - (3) 青少年のための芸術文化活動の取り組みについて
2. 観光振興について
 - (1) 大谷焼の振興について
3. ふるさと納税について
 - (1) 鳴門市のふるさと納税の取り組みと今後の展開について

●大石 美智子

1. 農業行政について
 - (1) 農水産物の販路拡大について
 - (2) 儲かる農業施策について



●三津 良裕

1. 福祉行政について
 - (1) 地域医療の充実について
 - (2) 高齢化対策について
2. 観光行政について
 - (1) 観光PRについて

●山根 巖

1. 人権教育について
 - (1) DVの防止対策について
2. 教育行政について
 - (1) 市立図書館のあり方について
3. まちづくりについて
 - (1) 過疎地対策および光回線の整備について

●上田 公司

1. 公共下水道事業について
 - (1) 事業の現状と今後の見直しについて
2. 観光行政について
 - (1) 体制強化について
 - (2) 事業効果について
3. 教育行政について
 - (1) 学校再編について

●叶井 克典

1. 教育行政について
 - (1) 瀬戸中学校・北灘中学校の統合校について
 - (2) 幼稚園教育について
 - (3) 学校給食について



●秋岡 芳郎

1. 徳島ヴォルティスへの支援について
 - (1) 徳島ヴォルティスJ1昇格に対する対応について
2. スポーツ行政について
 - (1) スポーツ推進計画について

●川田 達司

1. 高齢者福祉について
 - (1) 地域包括支援センターの機能強化について
 - (2) 介護認定の有効期間について
 - (3) 介護マークの活用促進について
2. 新たな広域連携について
 - (1) 近隣町との新たな広域連携協議について
 - (2) 上水道の災害時の広域連携について

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。

代表質問



郷土 派 会
やす かわ たく
し じ 次 川 靖 宅

◆市長の政治姿勢について

問 市税が減少し、社会保障費が上昇する中、収入と支出のバランスを考え、財政健全化に向けてどのように取り組むのか。

答 スーパー改革プランにおける市税徴収率の達成状況について、平成24年度実績の徴収率は90・5%となり、計画通り進捗しています。鳴門市に生まれて良かった、住んで良かった、訪れて良かったと実感できるまちづくりを推進すること、移住・定住人口、交流人口の増加を図り、歳入の確保につなげたいと考えています。

問 津波避難施設の建設について。

答 里浦町南部地区には周辺地域に高い建物や高台がなく、津波の到着が市内で最も早いことから、施設の整備に向けての基本・実施設計等に関する予算を平成26年度当初予算案に計上し、平成27年度に

建設工事に着手、平成28年度の完成を目標にスピード感を持って取り組んでいきます。

なお、施設の具体的内容や建設場所については、今後地元の方々のご意見を聞きながら決定したいと考えています。



津波避難施設の建設の要望が多い里浦町南部地区

◆競艇事業について

問 競艇場の施設改築について。

答 新スタンド建設事業は、約2年間の本場休催期間中に限られた予算の中で行うことから、工期短縮とコスト削減を実現するための設計施工一括発注方式や、公共工事としての品質確保のための公募型プロポーザル方式を採用するとともに、公営競技のスタンド建設に実績のある施工者が独自の工夫を加えることで、より良い施設にしたいと考えています。

代表質問



創心 派 会
だ きよ ゆき
の 野 田 粹 之

◆市長の政治姿勢について

問 泉市長2期目最初の当初予算を編成するにあたり、鳴門市をどのような町にしたいと考えているのか。

答 今回の当初予算は、産業振興や観光、文化資源のブランド化を進め、本市の魅力向上を図り、福祉、医療、育児、教育などあらゆる面から市民の暮らしを支え、住宅耐震化や上下水道の整備など社会資本を充実させるとともに、行財政改革を推進する4つのまちづくりを示した施策を進めていくため編成しました。

問 市の借金である市債について、どう対応していくのか。

答 健全な財政運営に努めてきましたが高どまりしています。今後は計画的な市債の発行に努め、財政負担の軽減を図りながら事業を進めていきます。

◆競艇事業について

問 競艇場の新スタンドを建設して再スタートするにあたり、どのようなビジョンを持っているのか。

答 市財政に寄与するとともに、雇用などの経済効果により、地域活性化に不可欠な事業であると考えており、今後も競艇事業の安定的な経営を行い、一般会計への繰出金はもとより、地場企業として、再び鳴門市の発展と活性化に貢献できる事業となるよう努めます。



新スタンド建設に向け準備を進める鳴門競艇場

代表質問

代表質問



有志会 かつ国勝
派もと 橋本
はし橋

◆市長の政治姿勢について

問 平成26年度当初予算の編成方針について。

答 スーパー改革プランで掲げる財政健全化の数値目標を常に意識しながら、「うきうき活力と魅力あふれる」「ずっと笑顔で生きがいを感じる」「しっかりと安心・快適住み良い」「おおきく躍動みんなど創る」、これら4つのまちづくりの具体的施策を進めていけるよう、財源の重点配分を心がけ編成しました。

問 消費税アップ等による市民負担の増加への対応策について。

答 低所得者への臨時福祉給付金や子育て世帯への臨時特例給付金、プレミアム付き商品券の発行事業、中間所得層の保育料の負担軽減、一部の公共料金の据え置き等に対応します。



10%のプレミアムが付く「阿波とくしま・商品券」

◆財政運営について

問 財政の健全化について、歳出面における扶助費の抑制策は。

答 介護予防事業の推進によって元気な高齢者を増やすとともに、介護給付等の適正化事業の実施や生活保護受給者の就労支援の充実、医療費の適正給付、特定健診・特定保健指導の受診勧奨、若い世代へのがん検診個別案内通知の送付等に取り組みます。

◆地域経済の振興・活性化について

問 地域経済の振興・活性化にどのように取り組むのか。

答 地域経済の大部分を占める中小企業を支援するため、エコノミックガバナニングの手法により、企業ニーズの把握、企業間のネットワークの構築、関連団体との連携強化などに取り組んでいます。

今後の展望としては、平成27年度末に本市の地域経済振興の指針となる中小企業振興条例の制定を目指します。

代表質問



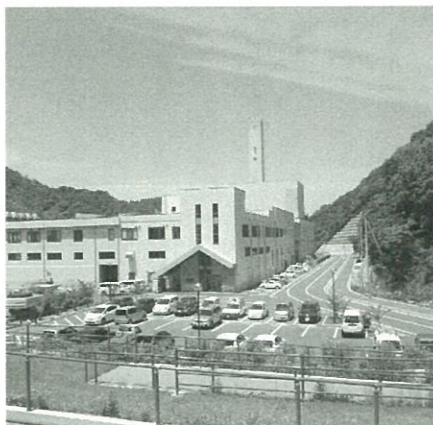
市民クラブ やすじ二
派つか 塚保
ひら塚 平

◆環境政策について

問 本市のごみ分別の方法やリサイクルの現状について。

答 本市では現在、家庭ごみは18品目に分別をしています。具体的には、指定ごみ袋でごみステーションに出される燃やせるごみ、燃やせないごみ、プラスチック製容器包装、危険・有害ごみの4品目、リサイクルステーションに出される茶色・透明・その他の色の瓶、ペットボトルの4品目、資源ごみ回収団体が回収する新聞、雑誌、段ボール、雑紙、アルミ缶、スチール缶、古布類、牛乳パックの8品目、直接クリーンセンターに搬入する粗大ごみ、家庭ごみで処理されている生ごみ、となっています。

リサイクルの現状については、家庭から出るプラスチック製容器包装、リサイクルステーションに



各種のごみ処理を行うクリーンセンター



「分ければ資源、捨てればごみ」分別にご協力

出される瓶やペットボトル、資源ごみ回収団体が回収する新聞や雑誌等およびクリーンセンターで中間処理後に取り出される鉄やアルミ等を、リサイクル協会等を通じて再資源化または再商品化しています。

なお、本市のごみのリサイクル率は、環境省の一般廃棄物処理実態調査では25・7%となっており、県や国を上回っています。

代表質問



会派 公明党 鳴門市議団
まつとみこ
松浦 富子

◆防災・減災対策について

問「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が成立したが、地方公共団体の責務としての取り組みについて。

答大規模自然災害等に強い国づくりに向けた取り組みを推進し、災害時要援護者避難支援登録制度を平成25年1月から開始しており、今後特に配慮が必要な被災者の方々の支援体制の整備に努めたいと考えています。

学校での防災教育の推進役である教職員の育成については、鳴門教育大学等関係機関と連携した研修の機会を確保し教職員の防災意識を一層高め、子どもの命を守る学校・幼稚園づくりを進めて



鳴門教育大学、地元小学校との合同防災訓練

いきたいと考えています。

◆消費税増税に伴う臨時的給付措置について

問消費税増税に伴う臨時的給付措置の支給方法・実施時期の周知徹底について。

答臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の周知・広報については、制度概要、対象になるかどうかのフロー、申請方法等を記載したチラシを全戸に配布するほか、市の広報紙や地元ケーブルテレビ等を活用していく予定です。なお、具体的な支給時期については現在検討中です。

◆プロトン菌について

問ピロリ菌除菌治療の公費助成について。

答内視鏡検査で確定診断した慢性胃炎も保険適用の対象となったため、本年度より県下で初めて開始した胃内視鏡検査とあわせ、まずピロリ菌を発見するためのABC検診の導入を検討し、胃がんを予防・早期発見できる体制を整備したいと考えています。

個人質問



ひがしだにしんじ
東谷 伸治

◆公共施設管理計画について

問鳴門市の本庁舎は、さきの東京オリンピック時に建設されたものである。鉄骨コンクリートづくりの法定耐用年数である50年を過ぎた今、リニューアルするか建て替えるか、決断に向けた時が近づいている。庁舎整備基金に毎年1億円積み増してはどうか。

答本庁舎を耐震改修して継続使用するか、新しく建設するかなどの具体的方針は、平成26年度中に行うスーパー改革プランの策定において検討したいと考えています。

◆LED化事業について

問政府は公的施設のLED照明の導入率100%を目標に掲げ、平成26年度予算をLED事業に向けている自治体も多い。伊方原発の再稼働まで電気が下がる余地はないと思われれることから、高い電

気代という出血を止めるためスピード感のある初期投資を進めてはどうか。

答現在、鳴門中学校および成稔幼稚園の増築部分等にLED照明を使用しています。今後、小

・中学校等の新築・増改築に伴い、順次LED照明を設置します。



LED照明の使用が電力使用量削減につながる

◆競艇事業について

問ボートレース鳴門の新スタンドについて、議会が約3億円の新たなスタンド建設にかかる債務負担行為を認めた責任は重く、ボートファン以外の方にも喜ばれる施策が不可欠である。競艇場付近を鳴門の玄関口として、活性化を図るため、「徳島フーメン」等を核としたテナントの誘致をしてはどうか。

答施設のテナントについては、地元の名物や食材を活用し、マスコミ等にも取り上げられるような店舗に出店してもらえ環境づくりを進め、観光客の集客も狙えるような活用を研究します。

個人質問



はま せい こう
浜 盛 幸

◆ 芸術文化振興について

問 芸術文化振興は文化産業のもとであり将来への投資であると思うが、将来を見据えた本市の取り組みは。

答 文化芸術の振興は新たな需要や高い付加価値を生み出し、より質の高い経済活動が行われることから、これまで、市展や文化展、市民ギャラリー、第九演奏会、市民文芸の発行など多くの文化事業を実施してきました。さらに、本市固有の歴史である「第九アジア初演の地」を基盤に、4年後に迎える100周年の記念行事を計画し、鳴門第九のブランド化を構築・推進しています。

問 本市における青少年のための文化芸術の取り組みは。

答 学校においては、平成19年度より、大塚国際美術館の「鳴門市小学4年生鑑賞プログラム」を活用



大塚国際美術館との連携による文化芸術教育
(写真は「鳴門市小学4年生鑑賞プログラム」)

し、市内小学校の4年生全員が絵画に親しむ体験的な鑑賞学習を実践しています。各学校においても、国や県の制度を利用して優れた芸術を鑑賞し、体験する取り組みを進めています。具体的には、文化庁の次代を担う子ども文化芸術体験事業で、影絵人形劇団、交響楽団によるワークショップと公演、鳴門市文化会館でのフィルハーモニア・カルテット・ベルリンの鑑賞などを実施しました。

また国際文化交流の面では、鳴門教育大学との連携により、市内小学校において、留学生との交流を通じて文化の違いを理解し、尊重しあえる心の育成を目指し、国際理解教育を推進しています。

個人質問



おお いし み ち こ
大石 美智子

◆ 農産物の輸出について

問 政府は農林水産物・食品の輸出額を2020年までに1兆円へと倍増させる目標を掲げている。国内需要が減少する中、海外へ販路拡大するための、本市の農水産物の輸出についての考えは。

答 農水産物の海外輸出については、県内外との連携を図り、スケールメリットを生かした効果的な輸出に県が主体で取り組んでおり、本市ブランド農産物の中では、なる金時が香港や台湾、シンガポール等へと輸出されています。今後も、引き続き高い品質と安定した生産量の確保を支援するところで、さらなる輸出拡大につなげていきます。



全国に誇る鳴門の特産物
「なる金時」

◆ 農水産物の大型産直センター設置について

問 本市の魅力である農水産物を求めて来る観光客のため、また儲かる農業実現のための通年販売の大型産直センター設置、さらにはにぎわいづくりについての考えは。

答 大型産直施設の設置を望む生産者も多く、農産物の販路拡大だけでなく滞在観光施設としての活用等、農業振興に有益な施設ですが、建設費用の問題、また年間を通じた販売品目の調達が不可欠であることなどから、広域的な生産者団体の協力運営が必要になってきます。そうした課題を解決するため、今後も、JAやJF等の生産者団体と協議を進めたいと考えています。



新鮮な農産物を求める
人でにぎわう土曜市

個人質問



みづはし ひろし
三津 良裕

◆福祉行政について

問 日頃から体調管理に留意していても急に救急車をお願いするときがある。緊急時や休日・夜間の場合、どのように対応しているのか。

答 初期救急医療体制として夜間・休日在宅当番医制で救急患者を診察しています。また2次救急医療体制では救急告示病院が診療を担っており、鳴門病院では70・1%の患者を受け入れています。さらに3次救急医療体制においては、徳島県立中央病院などの救命救急センターが受け入れを行っています。

問 認知症について、正しい知識の普及・啓発の仕方、また早期発見・相談体制の取り組みなど、どのような対策を取っているのか。

答 認知症予防対策として、小地域交流サロンなどの教室を実施し、早期発見・相談体制の取り組みについては、地域での気づきや見守

り体制のネットワークづくりを推進し、また地域包括支援センターや長寿介護課に相談窓口を設置しています。

◆観光行政について

問 市内には愛称を持つ場所や施設があるが、例えばJR鳴門駅や高速バス停などにも愛称をつけて、一層の観光PRを図ってはどうか。

答 先進地の事例を調査・研究しながら検討していきたいと考えています。

問 観光客をお迎えする気持ち、もてなす気持ち、来ていただく気持ちを知り、市民一人一人が鳴門を発信するガイド役になるための施策は。

答 鳴門市うずしお観光協会が宿泊施設や観光施設などの従業員等を対象に、もてなしの心の向上の勉強会をしています。また、毎年11月頃にはなると観光ボランティアガイド養成講座を実施し、受講者の方には観光客に鳴門の魅力をご案内していただいています。



鳴門のPR役として活躍している観光ボランティアガイド

個人質問



いわた 巖
やまね なおき
山根 巖

◆人権教育について

問 若年化しているストーカー行為やデートDV等を防止するために、どのような教育や啓発を実施するのか。また、市としてストーカー行為やデートDVが起らない町をつくるためにどのように取り組むのか。

答 青少年の暴力やいじめ、不登校などの悩みについて相談を受けている「うずっ子ダイヤル」を、デートDVについての相談も受ける総合的な窓口として位置づけるとともに、さまざまな教育活動を通じて、人権尊重を基盤とした男女が尊重し合う教育を推進していきます。

また、人権セミナーや人権地域フォーラムなどの啓発事業を実施するとともに、鳴門市男女共同参画推進条例の策定後は、さらに力強くDVや性差別のないまちづくりに取り組んでいきます。

◆教育行政について

問 平成25年8月に実施した「鳴門市立図書館サービスに関するアンケート調査」の結果を受け、今後図書館機能の充実や整備をどのようにしていくのか。

答 図書や資料の充実を初め、インターネット環境の整備や雨漏り対策、館内の照明灯の施設整備、また本棚の転倒防止や蔵書の落下防止などは、今後検討しなければならぬ課題であり、耐震補強工事にあわせて良好な利用環境を確保しながら、必要な対策を講じていきます。



施設の老朽化対策と環境整備を検討する市立図書館

◆まちづくりについて

問 モデルケース的に地域を限定してサテライトオフィスの誘致に取り組んではどうか。

答 市内に遊休資産を持つ企業の調査や立地を希望する企業とのマッチングに取り組むとともに、情報基盤整備を含めサテライトオフィスの誘致にも積極的に取り組んでいきます。

個人質問



うね だ じょう じ
上田 公 司

◆公共下水道事業について

問 今後の下水道事業においては、公募による市民参加型の協議会を設置し、計画の段階から市民に参加してもらうべきだと考えるが、協議会等を設置することで、住民に下水道事業の現状や経営状況を理解してもらいながら課題を市と共有し、その解決に向けた方策を検討し、事業推進に反映されることは意義があると認識しており、今後さまざまな方の意見を聞きながら検討をしていきたいと考えています。

◆観光行政について

問 事業者が観光振興に積極的に取り組むことで、市としてどういったメリットを付加できるのか。またどういった付加価値が事業者の要望に応えることになるのかを考えているのか。

答 行政と事業者あるいは事業者相互で情報・意見の交換や連携を行うことで、新たな商品の開発やより効果的なPRが可能になります。また行政として市の知名度向上やにぎわい創出を図ることにより、観光客の増加や消費拡大、さらに事業者には収益の拡大というメリットを付加することができるかと考えています。



鳴門市を全面に出したラッピングカーで知名度向上を図る

◆教育行政について

問 瀬戸中学校の創立校歌については期間・期限を優先せず、卒業生の思いに沿った取り扱いで何ら問題もないと思うが、それらを考慮して今一度検討する余地はあるのか。

答 瀬戸中学校と北灘中学校が統合し、新しい瀬戸中学校として開校するまで残り1ヶ月余りとなっている状況に鑑み、教育委員会として熟慮を重ねた上で、新しい瀬戸中学校に通う子どもたちのために最終的に決定した事柄です。

個人質問



かな い かつ のり
叶井 克典

◆瀬戸中学校・北灘中学校の統合校について

問 新しい瀬戸中学校では、鳴門市教育振興計画に示されている各学年複数学級・教育環境の充実に望むが。

答 「鳴門の学校づくり計画」での適正規模は、多様な学習活動や集団活動を行うことができるよう、ある程度の学級人数であることや、クラス替えができる複数学級であることのいずれかとしています。教育環境については、校舎の耐震改修にあわせて今年度に教室内部の整備を行い、統合後の拠点校として整備しました。

◆幼稚園教育について

問 幼稚園は、教員の未配置が長期間あったが、4月当初より、適正な教員の配置を願いたい。

答 学びの基礎を育む幼稚園教育は大変重要であり、人材の適正配置は必要と認識していますが、特に今年度は適任者の確保ができない厳しい状況でした。そのため臨時教職員の勤務条件や任用期限を見直すことにより、優秀な人材を確保し、4月当初から必要な人材を配置したいと考えています。

◆学校給食について

問 学校給食の食中毒対策は。また、学校給食センター利用校に配膳員の検討を願いたい。

答 学校給食法の規定に基づき、調理員、栄養士、配送員を対象に衛生検査等を定期的に実施してきましたが、より安全・安心な学校給食提供のため、センター調理方式の学校用務員についても、給食配膳に携わっているとして、平成25年度から検便を実施しています。

新学校給食センター稼働時には、大規模校への配膳員の配備について検討したいと考えています。



子どもたちに、より安心・安全な給食を

個人質問



あきおか よしろう
秋岡 芳郎

◆徳島ヴォルティスへの支援について

問 徳島ヴォルティスのJ1昇格に際し、鳴門市としてどのように取り組み、対応をしていく方針なのか。また、J1昇格が地域にもたらす効果をどう分析しているのか。

答 ホームゲーム会場やアウェーゲームを活用し、観光PRや農水産品等の特産品PRを積極的にまいります。具体的には、調理器具等を備えた多機能車両を導入し、試食等を実施します。また



徳島ヴォルティスの応援団

鳴門のパワースポットガイドを作成し、観光地まで足を運んだり町歩きしたりするきっかけにしてもらうほか、道案内看板を整備してヴォルティスロードの再構築を進め、高揚感を高めてもらいます。

J1昇格の効果としては、全国的に鳴門の知名度が向上することにより、にぎわい創出や地域経済の活性化に寄与するとともに、子どもたちに夢と感動を与え、スポーツ振興にもつながります。

◆スポーツ行政について

問 鳴門市スポーツ推進計画の策定方針は。

答 生涯スポーツの振興との位置づけで計画を策定するにあたり、市民アンケート調査を実施し、スポーツ活動の実態や体育施設に関する意見、要望を分析しています。この結果をもとに、スポーツ推進審議会で審議を重ね、平成26年度末の策定を目指します。また、市民がいつでもどこでも誰でもスポーツを楽しめるよう、ニーズを踏まえた体育施設の整備と活用の方性を計画の中でお示しします。

個人質問



かわた たつじ
川田 達司

◆高齢者福祉政策の充実について

問 高齢者やその家族の相談窓口である地域包括支援センターの機能強化と認知症支援策について。

答 超高齢化の進展で多様化する介護支援やその家族への最も身近な相談窓口である各地区の地域包括支援センターの機能強化を進めるため、平成26年度より社会福祉士の正規職員を配置し、医療機関や介護事業所など地域の関係団体とのネットワークを構築するため、新たに「基幹型地域包括支援センター」を1ヶ所設置したいと考えています。

また認知症高齢者を介護する家族を支援し、地域で高齢者を支えるための「介護マーク」の活用とその利用促進に早急に取り組みたいと考えています。

◆新たな広域連携について

問 市税が減少する中、行政サービスの効率化を促進するため、地方公共団体の新たな広域連携についてどのような構想を持っているのか。

答 厳しい財政状況の中、より一層の効率化や行政コストの縮減が求められており、1自治体では解決できない広域的な課題が増加していることなどから、広域連携の推進は有効な手法と認識しています。

今後、国からの財政支援措置などの情報収集に努めながら、近隣町とのさらなる広域連携の推進とあわせて、共同事業の具体的な実施課題について庁内で検討する場を設置し、調査・研究を行います。



静岡県で考案された在宅介護者であることを周知する「介護マーク」

市の予算の使いみちについて議論しました

8日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成26年度当初予算・平成25年度補正予算に関する25議案について審査しました。

委員会での審査の中で出た意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋しました。
(★：意見・要望／●：答え・説明)

教育 文化



【子ども・子育て】

- 地域子育て支援拠点事業（ひろば型）は、現在鳴門駅前で開催している「にこにこ広場」の出張所として、板東南ふれあいセンター（旧川崎幼稚園）で4月14日から週2回実施。
- ★施設が有効活用されるのは良いことであり、実施内容については自治振興会等との連携もを行い、工夫をして進めてほしい。
- 子育て支援体制整備事業については、育児不安を抱える家庭や軽度の発達障害が疑われる乳幼児を対象に保育所で巡回相談を行い、できるだけ早期に発見し関係機関と連携し適切・継続的な支援を実施。
- ★発達障害の早期発見は重要なので十分進めていってほしい。

【教育・文化・スポーツ】

- ★市立図書館の老朽化が顕著になっているが、災害時の避難場所や種々のイベントの開催場所であることから、早めに対応してほしい。
- 図書館の施設改善について今年度を実施したアンケート調査や現在実施中の耐震診断の結果をもとに、修繕等も含めた対策を必要に応じて行う。
- 平成26年8月までに市内の全中学校に空調設備を設置し教育環境を統一する予定だが、将来の進路選択等の重要な時期であるため中学校の教育環境整備を優先し進めている。小学校は普通教室の数が非常に多いため、中学校での設置効果等を十分検証した上で検討する。
- ★全市をあげて鳴門市チャレンジデーに取り組むのだから、もっと予算をかけ市民総出で盛り上げてほしい。

福祉 健康



【福祉】

- ★鳴門市女性子ども支援センター「ばぁとなー」では平成24年度から子ども相談事業も開始し、子ども支援員と家庭児童相談員を配置して虐待防止支援を行っているが、行政側の内部体制の強化だけではなく、虐待を通報する市民の義務の徹底を強化するとともに、周囲にも通報義務があることを自覚してもらうため、もっと啓発していく必要があるのでは。
- 今後も学校や保育所等の関係機関、民生委員等とも連携しながら虐待の啓発に努めるとともに、児童虐待の通報を受けた際の児童の安全確認等の体制強化に努めていきたい。

【健康】

- ★緊急通報装置設置事業は、一人暮らしで低所得の高齢者に緊急通報装置を貸与するものだが、低所得でない一人暮らしの高齢者も増加していることから、貸与に対しての条件を見直す必要があるのではないか。
- 貸与要件については、他市の状況もふまえ、できるだけ前向きに検討していきたい。
- 各種介護予防事業への男性の参加率が低いことから、今後、周知方法の検討が必要である。
- ★閉じこもりがちな男性のニーズを的確に把握し、お年寄りに活気あふれる生活を提供してほしい。

暮らし を守る

目次口



【防災・災害】

- ★ハザードマップ見直し事業について、現行体制では津波・水害の対策が混同されることが多く、また地形や住民の防災に対する意識に差があることから、それぞれの災害への対策を地域ごとに整理・統一すべきである。
- ★ハザードマップや避難施設等の整備を続けることは財政的にも限界があるため、少ない予算で無理なくできること、特にマニュアル作成により力を入れるべきである。

【消防】

- ★全国的に消防団員が減少傾向にある中、本市は昨年を除き平成21年から右肩上がり推移しているとのことだが、分団員の職業の関係で分団構成に地域差が生じており、今後さらに格差が顕著になることが懸念されるのでは。
- 全国的にも問題となっている分団員のサラリーマン化への対策も含め、今後消防団の再編等、対応を協議していく。

市民生活

【税】

●市税徴収嘱託員制度については、現在、600万円前後の件数等に対し年間約5,000万円弱の徴収実績をあげている。滞納が慢性化しないよう初期の滞納者への接触を積極的に図る意味においても効果があり、今後も活用したい。

【消費者問題】

★消費者問題は次々に発生するものであり、施策が後手に回らないよう消費者詐欺の撲滅に尽力してほしい。

【ボランティア活動】

★ボランティア団体については、運営できなくなるまでに組織が縮小されている団体もあり、団体数の減少も懸念される。こうした状況からもボランティアの育成支援が必要ではないか。



【環境・衛生】

★指定ごみ袋の価格については、有料化導入時からごみ10%削減の目標は達成しているため、価格を下げてよいのではないかと。

●ごみ袋有料化を実施している全国の自治体で最も多く採用されている価格帯であることから、現在の鳴門市のごみ袋は決して高くなく、ごみ減量への動機づけがされる程度の価格。国が地球温暖化対策やごみ減量化を推し進める中、鳴門市もさらなるごみ減量化に取り組む必要がある。

【下水道】

★公共下水道第2期工事は、平成26年度の予算でどの程度の進捗を予定しているのか。

●進捗率は約4割程度となる予定。今後の見通しについては、現在進めている人口集中地区の下水道整備は大きく変動はないが、全体計画については見直しをする予定。

観光産業

【観光】

★観光案内看板については、市単独で設置すれば費用面で制限が出てくるが、県や企業に協力を得れば多数の案内板を設置できるため、そうした取り組みをしてはどうか。

●観光案内看板については、経費が多額となるため、観光協会と連携し、協会の会員を主にスポンサーとして看板の設置を進めている。看板の外国語表記は、国の補助制度等を積極的に活用し整備を行っている。

●鳴門市コンベンション開催支援助成金については、外部評価委員会の意見を反映し、同じ団体が毎年助成を受けるのではなく、新規の団体に助成することとし、2年連続では行わないよう交付要綱の見直しを行った。

★コンベンションの誘致は大事な事業であり、消極的な予算とせず積極的に予算計上をするべきではないか。



【産業・経済】

★100円商店街は、継続的に人が集まるきっかけづくりとして始めたことであり、年に2日だけの単発的なイベントとならないようマーケティング調査を行うなど、行政の立場を明確にし、関わり方を検討するべきでは。

●100円商店街は地元の事業者が主体だが、行政として、今の商店街の状況打破の一貫として連携している。事業の主旨や目的に基づきながら実施していきたい。

★競艇場施設改修については、レジャーとして競艇を楽しめるよう、また賑わいあるまちづくりとしての位置づけから、複合的な施設となるよう施設改修および周辺整備を行ってほしい。

●鳴門市の活性化の核となり、また常時黒字化を実現し、他の23競艇場から視察に来てもらえるようなレジャー施設としての競艇場を目指していく。

その他

【まちづくり・住宅など】

●バス空白地域への対応として今年度は大麻地区で地元との協議を行った。具体的な成果があがった段階ではないが、今後も継続していく。

★高齢化が進む中、バスは介護タクシーなどの用途での要望も出てくると考えられることから、受益者負担を求め、事業者、利用者ともにメリットのある仕組みを考えなければならないのではないかと。

●旧鳥居記念博物館の利活用については、市のシンボルの建物との位置づけに加え、内部も活用する計画。活用方法は、地域の方々と協議を重ねる中、倉庫や地域コミュニティでの会議室、非常時の避難所、防災面からの屋上へのカメラの設置等の案が出た。あくまで当面の対応とし



ての考えであり、実質の耐用年数が近づけば再度検討が必要になる。

★旧鳥居記念博物館を単に避難場所や備蓄倉庫として活用するならば、別の建物を造ることも考えられる。シンボルとしてならば、建物の付随施設や周辺環境整備にも予算を投じる必要があるため、十分検討してほしい。

★木造住宅耐震診断・改修支援事業については、住宅整備は地震発生時に自らの命を守るため最低限必要なもの。対応が必要な住宅は改修が進むよう、行政として各自治会や地域への呼びかけを行ってほしい。

★耐震診断は行ったが耐震改修工事はしていない人へのアンケートを行うなど、耐震化率向上への対応策を考えてほしい。

市議会点描

15年以上在職議員 一般表彰
《第90回 全国市議会議長会 定期総会》

このたび、全国市議会議長会および
四国市議会議長会より、次の5名が、
それぞれ一般表彰を受賞されました。
皆さん、おめでとうございます。



みつ よしひろ
三津 良裕 議員

8年以上在職議員 一般表彰 《第76回 四国市議会議長会 定期総会》



あずま まさのり
東 正昇 副議長



おおいし みちこ
大石 美智子 議員



たかかわ やすじ
宅川 靖次 議員



はやし かつよし
林 勝義 議員

中国からの新しい国際
交流員をご紹介します

4月14日、平成26年度の国際交流員に
就任した蔡文娟(サイブンケン)さんが、
あいさつのため市議会を訪れました。

蔡さんは中国・山西省ご出身で、これか
ら1年間、鳴門市と中国・張家界市および
青島市との橋渡し役となり交流事業を進
めるほか、本市の海外への
PRにも取り組まれる予
定です。



4月14日議長室にて(左端が蔡文娟さん)

人事案件

固定資産評価審査委員会委員に

ほそい かずお
細井 一夫 氏(瀬戸町明神)

かわかみ しげる
川上 茂 氏(鳴門町高島)

たまい きょうこ
玉井 京子 氏(撫養町立岩)

こばやし たつお
古林 達夫 氏(大麻町松村)

次の定例会の開催予定

平成26年第2回定例会は、6月5日から6月24日までの20日間の予定です。

6月5日(木)	第2回定例会 開会 <input checked="" type="checkbox"/>	16日(月)	総務文教委員会 <input checked="" type="checkbox"/>
	予算決算委員会(議案説明) <input checked="" type="checkbox"/>	17日(火)	生活福祉委員会 <input checked="" type="checkbox"/>
6日(金)	一般質問通告締切	18日(水)	産業建設委員会 <input checked="" type="checkbox"/>
11日(水)	一般質問(会派代表質問) <input checked="" type="checkbox"/>	23日(月)	議会運営委員会・全員協議会
12日(木)	一般質問(個人質問) <input checked="" type="checkbox"/>	24日(火)	第2回定例会 閉会 <input checked="" type="checkbox"/>
	議会運営委員会		
13日(金)	一般質問(個人質問) <input checked="" type="checkbox"/>		
	予算決算委員会 <input checked="" type="checkbox"/>		

:インターネットで中継・録画配信
:ケーブルテレビで中継・録画放送

市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールでおよせください。

募 集 中

- ① 議会だより紙面について（ご感想、ご要望など）
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものでお願いします。



New

※内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。（紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。）
※紙面の都合で掲載できない場合があります。また、投稿していただいたものは返却できませんので、あらかじめご了承ください。
※写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますので、あらかじめご了承ください。

✽宛 先✽ 鳴門市議会事務局
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎(088) 684-1234 ☎(088) 684-0814
✉gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



議会広報委員会

委員長：上田 公司

副委員長：圃山 俊作

委員

大石美智子・川田 達司

佐藤 絹子・浜 盛幸

東谷 伸治・山根 巖



～ 編集を終えて～

平安時代は現在より暖かったため、夏を上手に過ごすために適した建物など工夫されていたそうです。

現代も温暖化の影響からか、平均気温が高くなっており、クール・ビズというスタイルも定着してきた感があります。

気候とは文化を作る要素のひとつですね。

もう夏です、暑さにお気をつけお過ごしください。（拝）



議会活動(平成26年3～5月)

3月

- 1日 第2回鳴門市消防フェア
- 2日 第41回鳴門クロスカントリー大会
- 3日 議会運営委員会
- 5日、6日 予算決算委員会(全体質疑)
- 7日～11日 各常任委員会
- 11日 表敬訪問(板東ビクトリー女組)
- 12日～14日 予算決算委員会各分科会
- 15日 第13回阿波えらいやっちゃツデーウォーク出発式
- 16日 北灘中学校閉校式
- 18日 市シルバー大学校卒業式
- 20日 全員協議会
予算決算委員会(分科会報告・採決)
- 24日 議会運営委員会
全員協議会
- 25日 第1回定例会 閉会
- 28日 廃棄物減量等推進大会
- 30日 第37回鳴門市吟剣詩舞道大会

4月

- 4日 議会広報委員会
- 8日 第148回徳島県市議会議長会定期総会(吉野川市)
- 9日 市内新規就職者激励大会
黄色い帽子贈呈式(北灘東小学校)
瀬戸中学校開校式・入学式
- 10日 黄色い帽子贈呈式(大津西幼稚園)
- 14日 国際交流員着任あいさつ
- 15日 市表彰審査委員会
- 17日 議会広報委員会
- 20日 市身体障害者連合会総会
- 21日 出張にこにこひろばオープニングセレモニー
- 22日、23日 第76回四国市議会議長会定期総会(愛媛)
- 24日 滴翠クラブ4月例会(徳島市)
- 25日 鳴門中学校総合落成式
- 29日 市子どものまちづくり推進協議会総会

5月

- 2日 議会広報委員会
- 7日、8日 ポートレース開催協力依頼(香川ほか)
- 8日、9日 産業建設委員会視察(広島)
- 9日 市幼小中PTA連合会総会
- 10日 市戦没者追悼式
市婦人連合会総会
- 12日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会
第160回定期総会(岡山)
- 13日 議会広報委員会
- 15日 市政施行67周年記念表彰式
- 16日 小諸市議会(長野)委員会視察来庁
- 17日 市保育協議会定期総会
- 19日 市民生委員児童委員協議会総会
- 20日 第58回鳴門市老人クラブ連合会総会
第2回定例会日程協議
- 23日 大麻町商工会第54回通常総会
大田原市議会(栃木)委員会視察来庁
シルバー人材センター定時総会
- 24日 みどりの愛護のつどい
- 25日 市板東公民館開設10年を祝う会
- 27日 市環境衛生組合連合会総会
- 28日 全国市議会議長会第90回定期総会(東京/～29日)
鳴門市チャレンジデー2014
- 30日 議会運営委員会
正副委員長会
第九アジア初演95周年記念・全日本「第九を歌う会」連合会25周年記念陶板除幕式
議会だより87号配布